

東京都知事 小池百合子 殿

関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式に対する追悼文送付の要請

関東地方でマグニチュード 7.9 という巨大地震が発生して今年で 94 年目となります。関東一円に壊滅的な被害を及ぼしたこの自然災害では死者・行方不明者合わせて十数万もの人々の尊い命が犠牲になりました。その混乱の最中で、事実無根の流言飛語により官憲、自警団、軍人などの手によって罪のない朝鮮人が虐殺されるというもう一つの惨劇が起きました。犠牲者数には諸説ありますが一説には 6 千人を超えるとも言われ、いずれにしても数多くの無実の朝鮮人の命が人の手により奪われたことに違いはありません。

1973 年に民間団体の手により関東大震災朝鮮人犠牲者の追悼碑が東京都横網町公園に建立され、毎年慰霊が行われています。この慰霊碑には「この歴史を心に刻み、犠牲者を追悼し、人権の回復と両民族の和解を願ってこの碑を建立する」とあり、今後このような悲劇が二度と起こらないようにという思いを込め、広範囲の方々の協力により設置されたものと聞いております。だからこそ、歴代都知事においても同式典に欠かさず追悼文を寄せられてきたものと思います。

ところが今年、小池知事は追悼文を取りやめるという報道がありました。定例記者会見において「すべての被害者の霊は大法要で弔っている」「民族差別という観点よりは災害の被害で亡くなられた方々への慰霊をしていく」等の発言がありましたが、言うまでもなく自然災害による犠牲者と民族差別により人為的に虐殺された犠牲者とは異なります。今回の知事のどの発言を取ってみても追悼文を取りやめる合理的な説明がなされているとは思えません。

近年、この日本において排外主義が横行し各地でヘイトスピーチ・ヘイトクライムが席卷しています。東日本大震災や熊本地震においても関東大震災時を彷彿とさせる事実無根のデマがインターネット上で飛び交いました。今回の知事の言動はこういった歴史的事実を隠蔽し歪曲する歴史修正主義に加担していると捉えられかねません。

過去この地で流言飛語により何ら罪もない朝鮮人や中国人、そして日本人が集団虐殺されると言う凄惨な事件によって無念の死を遂げた人々への追悼文は「慣例的、事務的に」で良いわけがありません。加害の歴史に正面から向き合い、二度とこのような事件が繰り返すことがないように再発防止対策を講ずることが、多くの外国人が暮らす多民族的な都市東京の都知事としての責務だと思います。誰もが安心して暮らすことが出来る東京、国際都市東京を創造する上での心構えとして心からの哀悼の意を込めた追悼文を送られることを強く要望致します。

2017 年 9 月 3 日

在日本大韓民国青年会中央本部
会長 朴裕植